

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 8月えんだより

8月聖句：「人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。」

<マタイによる福音書7章12節>

夏の気候が年々変化していき、「朝、晩涼しいうちに…」という時がなくなりつつあります。今年も猛暑の夏になると言われています。夏の遊びと言えば、水遊びです。水を怖がるお友達もいれば、水に顔をつけることも平気なお友達もいて、どちらも生き生きとした表情に涼しさを感じます。暑さを吹き飛ばし、心身共に心地良く過ごせるようにしていきましょう。

さて、7月は「隣人を自分のように愛しなさい」（マタイ22:39）という聖句でしたが、それを別の言葉で言い換えたものが「人にしてもらいたいと思うことを人にすること」だとイエス様は説明されています。私たちも、自分の子どもや子ども達に自ずと口に出てくるのは「自分がしてほしいと思うことを友達にしてはいけません。」という忠告や叱責の形をとりますが、これは自ら何か事を起こそうとする意欲を削いでしまうような感じがします。隣人と関わりを持つことなく、自分の方から働きかけない方が良いということになりかねません。似たような表現ですが、イエスは肯定的な言葉で、自分がこうして欲しいと思うことを、人のためにどんどんしてあげなさい、といわれたのです。

私たちが自分の生活の歩みの中で「人に何かをしてもらいたい」と切実に思う時は、どんな時でしょうか。辛い時、悲しい時、苦しみが続いて耐え難い時、つまり自分の生きていくなかで、恵みが見えなくなる時です。そういう試練の時に、人に助けて欲しいと願い求めます。イエス様は私たちに向かって言われます。「何でも人にしなさい」と。「何でも」ということは、自分の心に湧いて来る願いの一切ということでしょう。お節介かな、望まないかな？等と思い巡らすだけでなく、行動に起こしていきましょうという意味なのです。イエス様は、すでに十分に報いを受けている人に、あなたは、既に神様からも、人からも存分に良い事をしてもらったのだから、今度は、お返しをする番等と仰っていません。多くの試練の中で苦しみに喘ぐ者に向かって呼びかけておられます。その苦しさを知るが故に、その痛みを知るがゆえに、人から何をしてもらったらよいかをよく知っている人間、その人は、本当に隣人のために心を配り、共に生きることができるのだと言われるのです。この黄金律を心に刻み、示された愛に立ち、一人一人の子ども達に、出会う人々に関わる者でありたいと願います。

8月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	ゆったりと	平和を祈る
月の 願い	<ul style="list-style-type: none"> ・神様や周りの人たちに愛されていることを全身で感じる。 ・家族や保育者、友達とゆったりと過ごし、心を満たす。 ・夏の自然を五感で感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢や少人数の関わりの中でゆったりと過ごす。 ・ゆったりとした時間の中で、自分のやりたいことに取り組む。互いの思いを聴き合って過ごす。 ・身近なことから平和を考え、祈り、世界にも目を向けていく。
讃美歌	どんどこどんどこ こども改 106	きょうだいげんかを こども改 15